



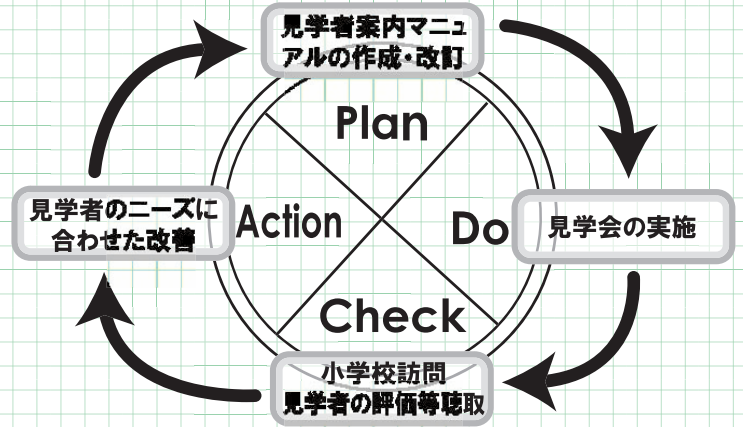
新三郷浄水場『記憶に残る見学会』

運動のねらい

子供たちは水の知識を
伝えてくれるメッセンジャー



小学校4年生の浄水場見学会を
より楽しくわかりやすく



具体的な取組

- ① 案内マニュアルの策定
- ② 見学会の実施



コントロール室の見学



「家に帰って自慢できるおみやげクイズ」

「家に帰って自慢できるおみやげクイズ」(例)

- | | | | |
|--------------------------------------------------------------|---------------|-----------|-------------|
| Q1 人の体の中に水分はどのくらいあるかな? | ① 10% | ② 30% | ③ 60% |
| Q2 地球上にある水の中で水道水に使えるのはどれくらいかな? | ① 100% | ② 1% | ③ 0.01% |
| Q3 水道水とコンビニで売っている水は、どちらがどれくらい高いかな? | ① コンビニの方が千倍高い | ② 同じくらい | ③ 水道の方が十倍高い |
| Q4 埼玉県全部の家庭からスプーン一杯の油を毎日流すと、1年間では学校のプール何杯分の油が川に流れて汚すことになるかな? | ① プール1杯分 | ② プール10杯分 | ③ プール30杯分 |
| Q5 水道を初めて計画したのはどこの人かな? | ① 大阪の人 | ② 埼玉の人 | ③ 東京の人 |

- ③ 小学校訪問見学者の評価等聴取



1 業務を進める上でもっとも大事なことは何かを考える

それは、「水道をもっと知ってもらわなければならない」だった。

2 そのためにできることは = 見学会の利用

毎年2000人を超える小学生が見学に来る → 家族(県民)へのメッセンジャーに

3 「記憶に残る見学会」とするための工夫 (Plan)

- 丁寧な説明(案内マニュアルの作成)
- 目で見てわかる工夫(実験等)
- 「おみやげクイズ」=メッセンジャー誕生への切り札

4 見学会実施 (Do)

5 見学した小学校へ訪問 (Check)

先生から直接評価や評判を聴く = さらなるニーズの把握

6 見学会の見直し (Action)

見学者のニーズに合わせて改善 → マニュアルの改訂

ここが使える! 参考にして明日から
でもできるところ

challenge!

- ◎ マネジメントサイクルの導入
- ◎ ニーズの直接把握
- ◎ 見学マニュアルの作成

message from challenger

～新三郷浄水場からメッセージ～

県民生活にとって水道は、蛇口を捻れば水が出ることに慣れ、その存在がほとんど意識されません。その貴重さが認識されるのは、先の新潟中越地震のように、いざ水が止まったときですが、すぐに元に戻ってしまいます。しかし、このように当たり前のもので水道が使えるのは、我々がたゆまなくその機能を維持しているからだと自負しています。

この3Sチャレンジは、県民の皆さんがいつでも安全で良質な水を使えるよう浄水場では如何に努力しているかを、子供たちから家庭へ伝えてもらいたいとの願いから始めたものです。

今般、その工夫やPDCAサイクルなどが高く評価されましたことを励みとして、更なる進化を目指して頑張ろうと思っています。